

石川 滋教授の退任を記念して

本号は、城西大学大学院経済学研究科の発展に多大の貢献をされました石川滋教授の長年の労を称え、ご退任を記念して刊行されたものであります。

本経済学研究科は経済学部経済学科を基礎として、1978年4月、他大学に先がけて「経済政策専攻」（修士課程）として発足いたしました。以来、外国人留学生や社会人を積極的に受け入れつつ、世界に通用する高度専門職業人の育成に力を注いできました。その結果、本経済学研究科の修了者の多くは、大学教員・高等学校教諭・税理士・起業家など、高度専門職業人として国内外の各方面において活躍しています。このように、本研究科が教育・研究活動の両面で今日の隆盛を示すに至ったのも、石川滋教授のご尽力の賜物と言っても過言ではありません。

石川滋教授は、1956年に一橋大学経済研究所助教授に就任後、同研究所教授を経て1982年、同大学を定年退官されました。その後は、青山学院大学国際政治経済学部教授（1982年～94年）を歴任され、1994年4月に城西大学大学院経済学研究科客員教授として本学に就任し、本年3月のご退任時まで本研究科の「開発経済論特修」、「国際開発政策論特修」、ならびに「演習」をご担当されました。

この間、1997年に「ベトナム国友誼勲章」を同国より授与され、98年には日本学士院会員に選出されるなど、石川滋教授は名実共にアジア研究の泰斗として、国内外で高く評価されている点は特筆に価します。石川滋教授のご業績の詳細については、「略歴・業績」の項に譲りますが、石川博士の教育・研究活動に対する真摯な姿勢に改めて敬意を表するとともに、今後の益々のご健勝とご活躍を祈念し、ここに「石川滋教授退任記念号」を捧げます。

2003年3月

経済学研究科長 大島 卓